

観点 1 知識・技能 2 思考・判断・表現 3 主体的に学習に取り組む態度

指導単元・月	観点	単元の評価基準（学習評価表）	具体的評価目標（おおむね満足 B）	評価方法・場面	弱点克服
集団行動 体づくり運動 4・5月	1	【知識】 ・体を動かす楽しさや心地良さを味わう。 ・体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などを理解する。 【技能】 ※体ほぐし運動 ・心と体との関係や心身の状態に気付く。仲間と積極的に関わり合う。 ※体の動きを高める運動 ・ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動を行う。それらを組み合わせる。	【知識】 ・運動の組み合わせ方には、効率の良い組み合わせとバランスの良い組み合わせがあることを理解する。 【技能】 ・自己の体重を利用して腕や脚を屈伸したり、腕や脚を上げたり下ろしたり、同じ姿勢を維持したりできる。 ・走や縄跳びなどを、一定の時間や回数、又は、自己で決めた時間や回数を持続して行うことができる。	・定期テスト ・観察 ・カード	・効果的な 視覚的教材の提示 ・効果的な 学習カードの提示
	2	・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。	・仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、仲間との関わりを見つけている。	・観察 ・カード	・生徒自らが気付ける
	3	・体づくり運動に積極的に取り組む。 ・仲間の学習を支援しようとしている。 ・1人1人の違いに応じた動きを認めようとする。 ・話し合いに参加しようとする。 ・健康・安全に気を配る。	・仲間の補助をしたり助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ・1人1人の違いに応じた動きなどを認めようとしている。	・観察 ・カード	・発問の工夫 ・話し合いの補助発問の工夫
陸上競技 4・5・11月	1	【知識】 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう。 ・陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関して高まる体力などを理解する。 【技能】 ・短距離走では、滑らかな動きで速く走る。	【知識】 ・陸上競技は、古代ギリシアのオリンピック競技やオリンピック・パラリンピック競技大会において主要な競技として発展した成り立ちがあることを理解している。 【技能】	・定期テスト ・スキルテスト ・タイム計測 ・距離計測 ・映像チェック	・ICT 機器の活用 ・グループ作りの工夫

		・リレーでは、バトンの受け渡してタイミングを合わせる。 ・長距離走では、ペースを守って走る。 ・ハードル走では、リズムカルな走りから滑らかにハードルを越す。 ・走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶ。 ・走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切って跳ぶ。	・短距離走ではクラウチングスタートから徐々に体を起こして加速することができる。 ・長距離走ではペースを一定にして走ることができる。 ・走り幅跳びでは自己に適した距離や歩数で助走し、踏切線に足を合わせて踏み切ることができる。 ・走り高跳びではリズムカルな助走から踏み切りに移ることができる。	ク	
	2	・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。	・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えることができる。	・観察 ・カード	
	3	・陸上競技に積極的に取り組む。 ・勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・１人１人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする。 ・健康・安全に気を配る。	・用具等の準備や後片付け、記録などの分担した役割を果たそうとしている。 ・１人１人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ・健康・安全に気を付けている。	・観察 ・カード	
水泳 7・8・9月	1	【知識】 ・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう。 ・水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関して高まる体力などを理解する。 【技能】 ・クロールでは手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐ。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐ。 ・背泳ぎでは手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐ。 ・バタフライでは手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐ。	【知識】 ・水泳は、近代オリンピック・パラリンピック競技大会において主要な競技として発展した成り立ちがあることを理解している。 【技能】 ・クロールではプルとキック、ローリング動作に合わせて横向きで呼吸することができる。 ・平泳ぎではプルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して息を吸い、キックの蹴り終わりに合わせて伸びをとり進むことができる。 ・背泳ぎでは水面上の腕は、手と肘を高く伸ばした直線的な動きをし、呼吸は、プルとキックの動作に合わせて行うことができる。 ・バタフライでは気をつけの姿勢やビート板を用いて、	・定期テスト ・スキルテスト ・タイム計測 ・距離計測	・生徒自らが気付ける発問の工夫 ・話合いの補助発問の工夫 ・ICT 機器の活用 ・グループ作りの工夫

			ドルフィンキックをすることができ、両手を前方に伸ばした状態から、鍵穴の形を描くように水をかくことができる。 ・ターンでは壁にタッチし、膝を抱えるようにして体を反転し蹴り出すことができる。		
	2	・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。	・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見つけることができる。	・観察 ・カード	
	3	・水泳に積極的に取り組む。 ・勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・1人1人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする。 ・水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配る。	・用具等の準備や後片付け、記録などの分担した役割を果たそうとしている。 ・1人1人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ・水の安全に関する事故防止心得を守るなど、健康・安全に気を付けている。	・観察 ・カード	・効果的な視覚的教材の提示 ・効果的な学習カードの提示
球技 5・6・11・1・2月 オリ・パラ教育	1	【知識】 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わう。 ・球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解する。 【技能】 ・ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をする。 ・ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。 ・基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防する。	【知識】 ・球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることを理解している。 ・対戦相手との競争において、技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶことが有効であることを理解している。 【技能】 ・パスやドリブルでボールをキープでき、得点しやすい空間にいる味方にパスを出すことができる。 ・相手コートの中空いた場所にボールを返すことができる。 ・各ポジションの役割に応じて、ベースカバーやバックアップの基本的な動きをすること。	・定期テスト ・カード ・スキルテスト ・ゲーム映像チェック	・生徒自らが気付ける発問の工夫 ・話合いの補助発問の工夫 ・ICT 機器の活用 ・グループ作りの工夫
	2	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。	・仲間と協力する場面で、分担した役割の応じた活動の仕方を見つけている。また、話し合う場面で提示された	・観察 ・カード	

			参加の仕方に当てはめ、チームへ関わり方を見つけている。		
	3	・球技の学習に積極的に取り組む。 ・フェアなプレイを守ろうとしている。 ・作戦などについての話し合いに参加しようとする。 ・1人1人の違いに応じたプレイなどを認めようとする。 ・仲間の学習を支援しようとしている。 ・健康・安全に気を配る。	・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。 ・作戦などについての話し合いに参加している。 ・1人1人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。 ・安全に気を付けている。		
武道（柔道） 11・12月 オリ・パラ教育	1	【知識】 ・技ができる楽しさや喜びを味わう。 ・武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解する。 【技能】 ・相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をする。	【知識】 ・武道の技には名称があり、それぞれの技を身に付けるための技術的なポイントがあることを理解している。 ・試合の行い方には、ごく簡易な試合におけるルール、審判及び運営の仕方があることを理解している。 【技能】 ・取は膝車をかけて投げ、受は受け身をとること。 ・取は、「抑え込みの条件」を満たして相手をけさ固めや横四方固めで抑えること。受は抑えられた状態から、相手を体側や頭方向へ返すことができる。	・定期テスト ・カード ・スキルテスト ・映像チェック	・効果的な視覚的教材の提示 ・効果的な学習カードの提示 ・生徒自らが気付ける発問の工夫
	2	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。	・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えることができる。	・観察 ・カード	・話し合いの補助発問の工夫
	3	・体づくり運動に積極的に取り組む。 ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとする。 ・分担した役割を果たそうとする。 ・1人1人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする。 ・禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配る。	・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとしている。 ・用具等の準備や後片付け、審判などの分担した役割を果たそうとしている。 ・禁じ技を用いないなど、健康・安全に気を付けている。 ・1人1人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。	・観察 ・カード	・ICT機器の活用 ・グループ作りの工夫

ダンス 2月	1	【知識】 ・ 感じを込めて踊ったり、みんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わう。 ・ ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などを理解する。 【技能】 ・ リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊る。 ・ 多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化をつけて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊る。	【知識】 ・ ダンスは、様々な文化の影響を受け発展してきた。 - またそれぞれのダンスには、表現の違いがあることを理解している。 【技能】 ・ 動きを誇張したり、繰り返したり、動きに変化をつけたりして、ひと流れの動きで表現できる。 ・ 自然な弾みやスイングなどの動きで気持ちよく音楽ビートに乗れるように、簡単な繰り返しのリズムで踊ることができる。	・ 定期テスト ・ カード ・ 発表会映像チェック	・ 効果的な視覚的教材の提示 ・ 効果的な学習カードの提示 ・ 生徒自らが気付ける発問の工夫
	2	・ 表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。	・ 提供されテーマや表現の仕方から、自己やグループの課題に応じた練習方法を選んでいる。	・ 観察 ・ カード	
	3	・ ダンスに積極的に取り組む。 ・ 仲間の学習を支援し、交流などの話合いに参加しようとする。 ・ 1人1人の違いに応じた表現や役割を認めようとする。 ・ 健康・安全に気を配る。	・ 学習に積極的に取り組んでいる。 ・ 作品創作などについての話合いに参加している。 ・ 1人1人の違いに応じた表現や交流の仕方などを認めようとしている。	・ 観察 ・ カード	
器械運動 10月 オリ・パラ教育	1	【知識】 ・ 技ができる楽しさや喜びを味わう。 ・ 器械運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関して高まる体力などを理解する。 【技能】 ※マット運動 ・ 回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行う。 ・ 条件を変えた技や発展技を行う。それらを組み合わせる。 ※跳び箱運動 ・ 繰り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行う。 ・ 条件を変えた技や発展技を行う。	【知識】 ・ 技の行い方は技の課題を解決するための合理的な動き方のポイントがあることを理解している。 【技能】 ・ 繰り返し系や回転系の基本的な技の一連の動きを滑らかにして跳び越すことができる。 ・ 学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで跳び越すことができる。	・ 定期テスト ・ カード ・ スキルテスト ・ 連続技映像チェック	・ 話合いの補助発問の工夫 ・ ICT 機器の活用 ・ グループ作りの工夫

	2	・技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。	・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えることができる。	・観察 ・カード	
	3	・器械運動に積極的に取り組む。 ・良い演技を認めようとする。 ・仲間の学習を支援しようとしている。 ・1人1人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする。 ・健康・安全に気を配る。	・練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ・1人1人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ・健康・安全に気を付けている。	・観察 ・カード	
体育理論 運動やスポーツ が 心身の発達に 与える効果と安全 4・9・1月	1	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について理解する。	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について理解している。	・定期テスト ・カード	
	2	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。	・自己の課題を見つけ、よりよい解決に向けて試行し判断することができ、他者に伝えている。	・観察 ・カード	
	3	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての学習に積極的に取り組む。	・学習に積極的に取り組んでいる。	・観察、カード	
保健 健康と環境 傷害の防止 5・6・9・10・11・12月	1	・健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。 ・傷害の防止について理解を深めるとともに応急手当についても理解する。	・健康な生活と疾病の予防、傷害の防止、応急手当について理解している。	・定期テスト ・カード	
	2	・健康な生活と疾病の予防、また傷害の防止について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。	・健康な生活と疾病の予防、傷害の防止における事柄や情報などについて、保健に関わる原則や概念を基に整理したり、個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見している。	・観察 ・カード	
	3	・健康な生活と疾病の予防、また傷害の防止について、資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・学習に意欲的に取り組んでいる。 ・自分の生活を振り返ることができる。	・観察 ・カード	